**別紙様式１**

# 令和７年度　指定管理者運営状況点検・評価シート

| | | | |
|---|---|---|---|
| 対象施設名 | 徳島県立南部防災館 | 施設所在地 | 海部郡海陽町浅川字西福良４３ |
| 指定管理者名 | 海陽町 | 指定期間 | 令和6年4月1日～令和11年3月31日 |
| 施設所管課 | 防災対策推進課　【連絡先】088-621-2298 | | |

## １　施設の概要

| | |
|---|---|
| 設置年月日 | 平成22年5月1日 |
| 設置目的 | 県民の防災意識の高揚及び防災知識の普及を図るとともに、本県の南部の地域における災害時の円滑な防災活動に資するために設置。（徳島県立南部防災館の設置及び管理に関する条例第１条） |
| 施設内容 | 対象の施設は、徳島県立南部防災館管理運営に関する基本協定書第６条に基づく次に掲げる施設及び備品。<br>本　館：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造２階建及び敷地面積約1,005㎡<br>駐車場：約９９５㎡<br>物　品：備品 |
| 利用料金等 | 無料 |
| 開館日・休館日等 | 供用時間：９：００～１７：００<br>休館日：月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）、毎月の第１火曜日（その日が休日に当たる場合を除く）、１月１日から１月４日まで及び１２月２８日から１２月３１日まで |

## ２　指定管理者の業務

| | |
|---|---|
| 指定管理者の業務内容 | 徳島県立南部防災館の設置及び管理に関する条例第４条に基づく次に掲げる業務。<br>・防災に関する意識の啓発及び知識の普及を行うこと。<br>・防災及び災害に関する資料の展示を行うこと。<br>・その他南部防災館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。<br>・南部防災館の施設等の維持管理（知事が指定する補修等を除く。）に関する業務<br>・その他南部防災館の管理に関し知事が必要と認める業務 |

## ３　施設の管理体制

| | |
|---|---|
| 管理体制 | 正職員　2　名　　会計年度任用職員　4　名　　計　6　名<br>・組織図<br>総轄責任者<br>海 陽 町<br>建設防災課<br>課長兼館長代理<br>防災館担当者<br>海 陽 町<br>建設防災課<br>課長補佐<br>南部防災館<br>運営管理統括<br>責 任 者<br>南部防災館<br>事務・庶務業務<br>担当者　３名 |

## ４　施設の利用状況

防災講座・訓練等開催実績

| 項　目 | | 目標 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 講座等開催（回数） | R7年度 | 80 | 10 | 11 | 11 | 7 | 13 | 9 | 8 | 8 | 18 | 8 | 4 | 4 | 111 |
| | 前年度 | 80 | 2 | 9 | 10 | 9 | 21 | 9 | 7 | 11 | 12 | 10 | 5 | 10 | 115 |
| | 前々年度 | 80 | 0 | 11 | 11 | 11 | 7 | 7 | 8 | 7 | 10 | 8 | 14 | 0 | 94 |
| 受講者数（人） | R7年度 | 2,000 | 171 | 422 | 356 | 222 | 191 | 151 | 162 | 299 | 497 | 263 | 79 | 205 | 3,018 |
| | 前年度 | 2,000 | 45 | 514 | 450 | 239 | 348 | 151 | 112 | 511 | 416 | 299 | 73 | 215 | 3,373 |
| | 前々年度 | 2,000 | 0 | 415 | 307 | 363 | 229 | 345 | 167 | 230 | 436 | 278 | 430 | 0 | 3,200 |

一般来館者数（本館及び海陽町まぜのおか管理棟）

| 項　目 | | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般来館者数（人） | R7年度 | 1,041 | 1,340 | 579 | 1,233 | 2,265 | 825 | 1,099 | 1,077 | 1,464 | 1,171 | 764 | 1,866 | 14,724 |
| | 前年度 | 1,185 | 1,373 | 661 | 1,308 | 2,081 | 575 | 1,073 | 1,296 | 1,326 | 1,306 | 415 | 1,748 | 14,347 |
| | 前々年度 | 1,155 | 1,467 | 771 | 1,513 | 2,227 | 1,139 | 1,451 | 1,355 | 1,186 | 945 | 610 | 1,705 | 15,524 |

※防災講座・訓練等の受講者数は除く。

## ６　収支の状況

（単位：千円）

| 項　目 | | | 令和７年度 | 令和６年度（前年度） | 令和５年度（前々年度） |
|---|---|---|---|---|---|
| 収入 | 指定管理料 | | 12,658 | 12,913 | 12,276 |
| | 利用料金収入 | | 0 | 0 | 0 |
| | 事業収入 | | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | | 3,631 | 1,879 | 645 |
| | 計 | | 16,289 | 14,792 | 12,921 |
| 支出 | 固定費 | 賃金 | 10,551 | 9,264 | 7,611 |
| | | 共済費 | 1,573 | 1,281 | 1,314 |
| | | 需用費 | 2,023 | 2,034 | 2,260 |
| | | 使用量及び賃借料 | 318 | 338 | 282 |
| | | 負担金補助金及び交付金 | 33 | 33 | 33 |
| | | 公課費 | 7 | 38 | 0 |
| | | | | | |
| | 運営費 | 旅費 | 302 | 230 | 89 |
| | | 報償費 | 99 | 0 | 0 |
| | | 役務費 | 559 | 505 | 329 |
| | | 備品購入費 | 21 | 0 | 0 |
| | 維持管理費 | 委託料 | 803 | 1,069 | 1,003 |
| | | ― | ― | ― | ― |
| | | ― | ― | ― | ― |
| | | ― | ― | ― | ― |
| | | ― | ― | ― | ― |
| | | ― | ― | ― | ― |
| | その他 | | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | | 16,289 | 14,792 | 12,921 |
| 収支 | | | 0 | 0 | 0 |

※項目は、事業報告書等に合わせて、適宜、変更すること。

※計画額や予算額との乖離が大きいもの、費目の内訳が分かりにくいもの等、詳細な説明が必要な場合には、別途、説明の追加や参考資料の添付など確認可能な形とすること。

## ７　コスト削減・サービス向上に関する取組状況

| | |
|---|---|
| コスト削減の取組 | ①管理コストの削減<br>・日常清掃や簡単な修繕は職員が実施している。<br>②用紙類の使用量の削減<br>・ミスプリント防止のため、使用前の設定確認及び設定リセットを行っている。<br>・電子データの保存・共有によるペーパーレス化（例：日報など）に努めている。<br>③エネルギー使用量等の抑制<br>・不必要な電灯の消灯徹底（不必要なOA機器等は電源を消すことにより節電に努めている）。<br>・事務所室温管理は出入口にカーテンで間仕切りし、暖房効率を上げる工夫などしている。<br>・水道水の含有塩素の確保のための開栓は必要最低限の回数とし、節水に努めている。 |
| サービス向上の取組 | ・教育委員会や学校、各種団体、自主防災組織等に対し直接働きかけることに加え、HPならびにSNS（Facebook、X、Instagram）を活用することにより利用の促進を図っている。<br>・防災講座等を開催する上で利用者が利用しやすい時間を事前に把握し、必要に応じ柔軟に対応している（特に学校関連は月曜開催を要望される機会が多い傾向あり）。<br>・南部防災館に来ることができない学校や団体に対しては、出前講座等を実施している。<br>・県、自治体等の防災関係機関と連携するなど工夫して講座等を実施している。<br>・令和8年度の起震車予約に関し7年度中にスケジュールを確定してもらい、3月に先ず教育委員会に案内。学校関係を最優先し、その後一般団体へ共有し、年間スケジュールを立てている。<br>・新たな講座開発として「煙体験」を利用者に提案できるようにした。 |

## ８　自主事業の取組状況

| | |
|---|---|
| 自主事業取組状況 | ・防災備品、パネル展示<br>・防災関係図書の貸出<br>・心肺蘇生法、消防訓練など講習の実施<br>・災害関係の動画放映<br>・防災意識に関するアンケートの実施<br>・自主防災組織などからの要望に合わせ、開館時間以外でも講習等実施するよう努めている。<br>・パンフレットをリニューアル、講座内容のチラシを作成し広報に努めている。 |

## ９　管理運営業務に係る点検・評価

| 項　　目 | 評　価 | 点　検　結　果 |
|---|---|---|
| ①利用者ニーズの把握・分析と利用促進<br>・利用者ニーズの把握<br>・利用者ニーズへの対応<br>・施設の利用促進 | A | ・利用者のニーズを把握するため講座依頼時に要望の聞取り<br>と講座開催後にアンケート調査を実施し、次回以降の参考<br>としている。<br>・実施可能な講座をメニュー表として示し、利用者の要望<br>あるいは潜在的なニーズを引き出し、団体毎にアレンジ<br>した講座を提供している。<br>・施設利用は夏休みに防災体験学習を実施しているが、<br>それ以外に利用促進企画が不足している。令和8年度<br>は常設展示を定期的に見直し、まぜのおかキャンプ場<br>との協働企画を立ち上げる方針とのこと。 |
| ②自主事業<br>・計画した自主事業の実施 | A | ・防災パネル・備品の常設展示に加え、12月には防災館にて<br>資機材特別展示を実施。<br>・心肺蘇生法、消火訓練などの講習を実施。<br>・夏休み期間に「防災体験学習」を館内実施。<br>避難所体験/消火体験/起震車による地震体験を実施。<br>・地域イベントに出向いて主に起震車体験を通じ広報活動<br>を実施。<br>・防災関係図書・防災装備・備蓄品の貸出。 |
| ③適正な維持管理<br>・施設の保守管理・修繕<br>・年間作業計画に基づく適正な維持管理<br>・県備品等の適正な管理 | A | ・常に職員が施設内を巡回し故障や異常に対応し、不明な<br>場合は建設防災課に指示を仰ぎ委託業者に連絡などして<br>いる。<br>・施設の清掃、簡易な保守管理や修繕等は職員が行って<br>いる。<br>・備品は新たにチェック表（写真付き）を作成し管理して<br>いる。 |
| ④収支計画<br>・収支計画の達成状況<br>・コスト削減の状況<br>・外部委託の状況 | A | ・印刷費の削減や省エネ活動等の実施により、削減に務めて<br>いる。<br>・職員が施設の修繕等を自ら実施するなどコスト削減の取組<br>を行っている。<br>・外部委託に係る事務は、町の会計事務により適正に実施<br>している。 |
| ⑤管理運営体制等<br>・管理運営業務計画書<br>・職員の配置、研修計画<br>・諸規程の整備<br>・利用料金の徴収、減免<br>・モニタリングの実施状況 | A | ・管理運営業務体制に基づき、職員の配置や外部委託等を<br>実施しており、適正な管理に努めている。<br>・研修、講演会への参加及び県の訓練等にも参加し防災啓発<br>業務に係る職員の能力向上を図る。<br>・現段階で利用者の苦情、クレーム等はない。<br>・協定書のセルフモニタリングを受け、県へ報告している。 |
| ⑥職員体制<br>・職員の労働条件 | A | ・当施設の職員は、町の会計任用職員で、労働条件及び<br>最低賃金の遵守はできている。 |
| ⑦地域への貢献<br>・地元雇用の状況<br>・地元企業への業務委託 | A | ・当施設の職員は海部郡在住者を雇用している。<br>・物品等の調達、委託業務はできるだけ地元業者に<br>依頼している。 |
| ⑧地域との連携<br>・地元団体等との連携 | A | ・各小中高等学校の防災授業での講座をはじめ、各自主防災<br>組織及び事業者と連携しながら防災啓発を実施している。 |
| ⑨安全管理<br>・安全管理体制、事故防止体制<br>・災害等発生時の対応体制<br>・マニュアルの整備、職員教育<br>・個人情報保護への適正対応 | A | ・現在まで指定管理者の責めに帰すべき事故はない。<br>・個人情報保護は町の条例で定められていて、役場主催の<br>研修を受講などしている。 |

| 項　　目 | 評　価 | 点　検　結　果 |
|---|---|---|
| ⑩環境への配慮<br>・環境対策の状況 | A | ・太陽光パネルなどの活用による節電対策を実施。<br>・雨水を利用し非常時に備えている。<br>・用紙類の使用量の削減及びカラーコピーの必要性を確認している。<br>・まぜのおかと共に施設周辺の清掃作業を実施。 |
| ⑪その他<br>・関係法令の遵守状況<br>・情報公開請求への対応体制 | A | ・指定取り消し要件に該当する事案はない。<br>・情報公開については条例化され、周知化されている。 |
| 総合評価 | A | 概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。 |

〈評価指標〉　Ｓ：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
Ａ：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
Ｂ：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
Ｃ：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※　項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## １０　その他（今後の課題及び対応等）

・南部防災館の施設の老朽化が進んでいることから備品の修繕や交換が増えているため、計画的に実施する必要がある
・備品としてのノートPC等が古い型の物のため、新しいOSに対応できるように検討する必要がある
・物価高の影響もあり、支出が増えてきているため、消耗品費用等の削減可能なところは進めていく必要がある
・南部防災館での普及啓発のために実施している内容や取組みをより外部の人に伝えられるようにSNSやチラシなどを用いて周知していく必要がある
・まぜのおかキャンプ場の集客力を活かして連携して啓発を行っていく方法がないかを検討していく。